

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生医療福祉専門学校福岡校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

学校関係者評価報告書

麻生医療福祉専門学校福岡校

平成30年7月31日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 上野 慎輔

目 次

| | |
|-----------------------------|--------|
| I. 学校関係者評価の概要と実施状況 | - 2 - |
| 1. 学校関係者評価の目的 | - 2 - |
| 2. 学校関係者評価の基本方針 | - 2 - |
| 3. 学校関係者評価委員名簿 | - 2 - |
| 4. 学校関係者評価委員会実施日時 | - 2 - |
| 5. 学校関係者評価方法 | - 2 - |
| II. 学校関係者評価内容 | - 3 - |
| 基準 1 理念・目的 | - 3 - |
| 基準 2 教育の内容 | - 4 - |
| 基準 3 教育の実施体制 | - 6 - |
| 基準 4 教育目標の達成度 | - 7 - |
| 基準 5 学生支援 | - 8 - |
| 基準 6 学生募集・受け入れ | - 10 - |
| 基準 7 社会的活動 | - 11 - |
| 基準 8 管理運営・財務（学校・グループ） | - 12 - |
| 基準 10 改革・改善・情報提供 | - 13 - |

基準 9 は評価対象外

平成29年度
(2017年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生医療福祉専門学校福岡校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員出席者

| 区分 | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|------------------------------|
| 業界関係者 | 井上 将彦 | (医) 聖峰会 聖峰会マリン病院 事務次長 |
| 業界関係者 | 潮田 大介 | (有) ケンルック 事務長 |
| 業界関係者 | 江川 順一 | (福) 福岡愛心の丘 月隈愛心の丘 施設長 |
| 業界関係者 | 大庭 欣二 | 福岡福祉向上委員会 代表 |
| 業界関係者 | 桑原 由美子 | NPO法人 発達障がい者就労支援 ゆあしっぷ 理事長 |
| 業界関係者 | 小西 英樹 | 公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長 |
| 業界関係者 | 副島 和代 | そえじま内科クリニック 事務長 |
| 業界関係者 | 武田 聡 | NPO法人 木もれ日 カフェヒュッテ 施設長 |
| 業界関係者 | 玉ノ井 敏子 | (福) まごころ会 あゆみらい保育園 園長 |
| 業界関係者 | 渡辺 裕子 | (福) 宰府福祉会 児童発達支援センターすみれ園 園長 |
| 有識者 | 占部 尊士 | (学) 永原学園 西九州大学短期大学部 准教授 |
| 有識者 | 大澤 利通 | (公社) 福岡県介護福祉士会 理事 |
| 有識者 | 大山 和宏 | (一社) 福岡県精神保健福祉士協会 会長 |
| 有識者 | 西山 謙 | (公社) 福岡県病院協会 診療情報管理研究研修会 委員長 |
| 高校 | 熊谷 智彦 | (学) 久留米学園 久留米学園高等学校 校長 |
| 地域住民 | 高田 照幸 | (株) たかた商会 代表取締役 |
| 保護者 | 尾下 千賀子 | ソーシャルワーカー科の保護者 |

| | | |
|-----|--------|--------------|
| 保護者 | 蒲池 桂子 | 福祉心理学科の保護者 |
| 保護者 | 木下 典子 | 医療秘書科の保護者 |
| 保護者 | 塚本 のり子 | 医療情報科の保護者 |
| 保護者 | 所崎 あすか | 診療情報管理士科の保護者 |
| 保護者 | 西原 真由美 | こども未来学科の保護者 |
| 卒業生 | 池上 幸子 | 介護福祉科 |
| 卒業生 | 大本 栞 | 医療秘書科 |
| 卒業生 | 庄崎 綾乃 | 医療情報科 |
| 卒業生 | 田中 隼平 | 心理カウンセラー科 |
| 卒業生 | 中井 志帆 | 診療情報管理士科 |
| 卒業生 | 眞島 顕弥 | こども未来学科 |
| 卒業生 | 宮井 浩志 | 社会福祉科 |
| 卒業生 | 山下 朋子 | ソーシャルワーカー科 |

※区分別、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年6月30日（土）13：00 ～ 14：00

場 所：麻生塾福岡キャンパス 4号館 7階 473教室

5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S:達成度がきわめて高い
- A:ほぼ達成している
- B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)
- C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

基準1 総括

建学の精神・法人の理念については、麻生塾ルールブックに明文化して、教職員全員に配布され周知している。学生に対しては、校訓として学生便覧に記載して入学時より周知・浸透を図っている。学外に対しても、Web サイトで紹介している。

見つかった課題

学校法人としての教育理念に基づいて、教育目標等を掲げている。今後、教育理念に基づいた教育内容を定期的に見直しが必要である。

改善策又は改善の方向性

今後、教育理念に基づいた教育内容について定期的に見直し、周知していく。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・「C評価」の項目への取り組みに邁進されてください。
- ・学校の教育理念の策定をお願いします。
- ・親は「こんな社会人になってほしい」という思いを持っている。その視点で学校を選ぶということを考えると、子どもより親に向けての理念や方針だとよいのではないかと考える。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

学校法人としての教育理念に基づいて、教育目標等を掲げている。今後、教育理念に基づいた教育内容を定期的に見直し、周知していく必要がある。

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教

員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生全員に対する周知について、理解度の把握の点で改善が必要で、関連する学習の機会を活用して、繰り返し確認の機会を設ける。

小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

教育と指導を通して学生に十分に理解させ、周知させていく。

小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

今後は様々な環境の変化に対応し学校としての内容の見直しを図る。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育人人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

各学科の教育目的や人材育成像は、『学生便覧』に記載され、周知されている。社会状況の変化に対応した内容となるように見直しも行い社会に公表していく。

小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教育課程に関しては『学生便覧』等で提示している。今後は各科目間の関連性等を、学生に十分理解させるようにしていく。

基準 2 教育の内容

基準 2 総括

「法人の理念」から導き出された「学校の教育方針」に則って、各学科の教育課程やシラバスが展開されている。カリキュラムは業界関係者や業界団体等外部の方々のご意見を取り入れ検討・改善をしている。また、学生の就職先や実習先などからのコメント等を情報として検討に含めている。それらの情報をもとに関係者間で協議し、理念や方針との整合性を図りながら見直しや改善等に努めている。作成されたカリキュラムをもとにシラバス・コマシラバスの作成を行い周知・共有を図っている。

見つかった課題

今後は様々な環境の変化に対応し学校としての内容の見直しを図る。

改善策又は改善の方向性

定期的に見直しを行い、周知していく。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・麻生ドリルにおいて、ITの活用強化を望みます。
- ・入学前に基礎学力を養える、・学校側が取り組み状況を把握できる、・入学までに学習することができて安心感があるという点で麻生ドリルの導入は良いと思われます。
- ・専門学校としての取り組みと家庭環境の影響、学生のやる気等が相まって、カリキュラムの成果が変わってくると思います。
- ・今回取り組んでおられる「他職種(他学科・学校)との連携」を深める活動を、今後も継続することを望みます。
- ・夜間の教室貸し出しは良いと思います。社会人向けのキャリアアップ研修や勉強会もできると、参加者も増えるのではないのでしょうか。
- ・麻生ドリルの実施が、入学生に対するサポートに繋がる点で安心感となり、志願者増加に繋がると思います。
- ・留学生、委託訓練生の入学もですが、従来の高校新卒者についての募集・教育を引き続き行なってください。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

カリキュラム作成に関しては、平成 28 年度より、毎夏に教員全員でカリキュラム会議を開催して、求められる人材育成像から導きだされた各学科の教育目的を含んだ内容としている。但し組織的な点検・評価までにはいたっていない。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学科ごとに、カリキュラム会議の内容と、そこから導き出された教育課程の編成、教育内容・方法を検討しながら、基本的な方針を定めている。学修成果の検証において改善が必要である。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

年に3回開催されている教育課程編成委員会での意見、および就職担当者との連携において、業界の人材ニーズを把握し、それに向けた学科の育成人材像およびカリキュラムを検討・作成し、社会に公表している。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

作成・配布できている

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者をに入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育課程編成委員会および内部の就職担当者の意見を取り入れている。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的な検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

常勤の教員間での共有化は図られているが、非常勤講師が担当する教科との整合性の検証については、学科毎に改善していく。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教科に適した授業方法を検討して実施している。評価・検証については今後も精度を高めていく。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートにおいて、評価が低い科目については適宜改善活動を行なっている。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

コマシラバスの作成はできているが、学生に対する概略と到達点の周知、および授業展開の記録については、個人によって差があるため、標準化できるよう体制を整える。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

一部の非常勤講師の評価方法・内容について、客観性や厳格性に関する精度を高める。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

希望者および必要性を検討の上、各種研修に参加するなどの資質向上に努めているが、検証・評価を含む組織的・計画的な点において今後、改善していく。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

授業アンケートは確実にこなしている。個人的なヒアリングやアドバイスに留まっているので、非常勤講師の改善に関しては計画的な活動を行なっていく。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： C

■コメント

改善の必要性があれば、学科会議等において検討している。次年度は教育戦略会議を設け、組織的・計画的に実行していく。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

外部の研修に関しては計画的に行なっていく。検証・評価についても今後、改善に取り組んでいく。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

グローバルシティズン教育を中心に、全学科が現場実習を必修の科目として位置づけているため、社会的・職業的自立を促す教育を行なっている。リメディアル教育については、次年度入学生に向けて行なっている。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

各学科で定められた分野において、現場実習を実施し、実社会に必要な応用力やコミュニケーション力、協調性・責任感等の育成を目指している。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各学科の実習においての実習指導や就職実務など、キャリア教育に関する内容をカリキュラムに組み込んでいる。また、それらには、社会的・職業的自立を促す内容を盛り込んでいる。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

入学予定者に対しては、一部の学科には事前課題を与えている。次年度入学生に向けては「ASOドリル」を実施している。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教員の採用基準に関しては、文部科学省・厚生労働省関連の学科については法令に基づいた指定規則を、その他の学科については、福岡県専修学校設置認可取扱基準の要件を遵守している。

見つかった課題

教育の実施体制についての基準・方針について、教職員全員への周知・徹底。

改善策又は改善の方向性

教育の実施体制についての基準・方針について、教職員全員が周知し、法令等の遵守と教育に関する連携を目指す。

■学校関係者評価結果： 適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

・資格取得のみならず「社会人とは」というところに強化をお願いしたいです。コミュニケーション不足が目立つ社会人 1 年目の人に特に感じます。

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

設置基準について、教職員全員が周知するにはいたっていない。周知・徹底の必要がある。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は文部科学省・厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。法令に基づいて、今後更なる整備を行っていく。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

基準を満たしている

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果： 適 合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

授業科目と担当教員の適合性を図り、教員一人当たりのコマ数が過重にならないよう配慮している。常勤の教員と非常勤講師間では、講師会をはじめ日常的に連携を図っている。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は文部科学省・厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。法令に基づいて、今後更なる整備を行っていく。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年に 1～2回の非常勤講師会を定期的に行なっている。また、授業実施報告書による報告や、授業の内容や学生の状況等、非常勤講師とクラス担任とで適時情報交換を行なっている。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

必要に応じて教育環境の整備・活用を図っているが、学内外実習に関する「安全規程」の完成・周知において改善していく。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校設備や教育備品、実習用の教具を把握し管理し、担当者によって年度に1回点検している。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいと実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

学内外の実習時の安全に対する指導は、実習指導にて行なっている。今後「安全管理規程」に関して整備していく。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

法規で定められた定期的な設備点検を実施し、改善指摘分を改善している。警備システムも適切に運用されている。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

就職支援を行なうための資料を備えたキャリアサポートセンターがあり、就職指導担当者が常駐している。学生も、日常的に活用できている。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総合図書館があり、関連図書を備えている。書籍の更新や活用状況を整備していく。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

教科の評価・成績、国家試験および資格・検定の合格率・合格者数に関して、目標の設定・共有、達成への取り組みと、結果の報告・評価、改善への取り組みは行なっているが、取り組みに関する効果の検証は、学科や教科によって不十分な点がある。

見つかった課題

ディプロマポリシーの整備

改善策又は改善の方向性

ディプロマポリシーを整備し、評価・検証を組織的に行なう。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・ホームページやパンフレットでの資格・検定合格者数や合格率は、年度の合格者数が通産かが分かりにくい部分があると思います。
- ・介護福祉士の国家試験を希望者だけでなく全員受験することで、クラスが団結し向上心も高まり、勉強が苦手なクラスメイトに教えることで、自分自身もさらに知識が身につくと思います。

=====

中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

教科の評価・成績、国家試験および資格・検定の合格率・合格者数に関しては公表している。

小項目 4-1-1

デュプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

各学科において卒業認定の基本方針を定めている。

小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

成績評価に関しては、基準に則って行い、システムによって管理しているが、組織的な検証・報告・改善については今後改善を図っていく。

小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

介護福祉士国家試験に関しては、今回が初年度であるため、早期に評価・検証・改善に取り組む。

小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

各結果については検証したうえで、改善について組織的に取り組み、効果の有効性について確認する。

小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

結果については検証したうえで、改善について組織的に取り組み、効果の有効性について確認する。

小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

結果については検証したうえで、改善について組織的に取り組み、効果の有効性について確認する。

=====

基準 5 学生支援

=====

基準 5 総括

担任制の下、学生・保護者・学校の連携を図りながら、個々の学生の状況に沿った支援を行なっている。特別な支援が必要な学生については、昨年度に引き続き外部の専門家による相談・支援を続けた。

見つかった課題

「社会福祉士受験対策講座」に関しては、卒業生であることから受験番号の把握ができず、評価・検証ができていない。

改善策又は改善の方向性

「社会福祉士受験対策講座」の受講生に関しては、受験番号の把握について検討する。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・学べる機会の充実は、様々な家庭環境にある学生にとって大変大切なことと感ずます。これからの現評価の維持と充実に期待しています。
- ・卒業しても、校友会に登録すれば求人票が得られるのは、助かると思います。
- ・卒業生の在職状況の割合がどうなっているのか知りたいです。
- ・社会福祉士国家試験の対策講座を、今後もよろしくお願いします。
- ・卒業生に関する在籍状況のアンケート結果を、学校の教育活動にどう活用しているのかを知りたいです。
- ・卒業時の先生が良く連絡を下さって、色々な悩み等を話すことで気持ちの整理が付き、明日への活力をいただいています。職場に様子を見に来てくれたこともありました。
- ・東京の医療研究所での実習が、魅力的であり、人としても成長でき社会貢献できる大人になれると思う。実習に行った学生の今後の活躍が楽しみです。
- ・卒業生に対する国家試験対策講座などを無料で実施するのは、受講者側としてはとてもありがたいことですが、受講料を徴収しても良いと思います。

=====

中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： S

■中項目総括

今年度より「キャンパスライフサポートセンター」を設置し、あらゆる相談に対応できる体制を開始した。

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

担任は、定期的および必要に応じて面談を行い「ガイダンス報告書」を作成して副主任をはじめ、責任者が閲覧・確認して、全員体制で支援できる状況となっている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

就職に関する保護者会、三者面談を実施し、学校の情報と学生の情報に関して情報を共有して、保護者の理解や信頼関係構築を図っている。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパスに在籍しており対応できている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学生相談室を設置して、希望者には臨床心理士によるカウンセリングも行なっている。

小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教職員・学生に対して、ハラスメント防止に関するガイドラインを明示している。学生が受けたハラスメントについても、教職員と同様に対応可能である。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

経済的理由による修学支援として授業料免除制度を整備している。日本学生支援機構の奨学金手続きを中心に、都道府県、市町村、各種団体等の奨学金について学生への案内、手続き支援をおこなっている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

国際交流センターを設置し、留学生の修学支援や就職支援を専門的に行なっている。社会人学生に関しては一部の学科を対象に、職業訓練制度や教育訓練給付金制度が活用できる。障がい者については、学科の特色を鑑みて、可能な限り受け入れを行なっている。また就職支援に関しては、就職グループが中心となり個別に支援している。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教職員が部活動顧問として課外活動支援を行い、年間の予算を管理、報告を行なっている。

=====

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

Web サイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。就職の再斡旋を希望する卒業生と直接面談をするなどの支援も行っている。

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、4年目までの在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

卒業生の就職先に対し、就業2年目、3年目、4年目の在籍状況のアンケートを実施している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

卒業生に対する「社会福祉士受験対策講座」については、昨年並みの人数が受講した。効果について検証している。

=====

基準 6 学生募集・受け入れ

=====

基準 6 総括

学生募集に際しては、学校案内等に法人としてのアドミッションポリシーを明示し、入学志願者にとって必要な事項についても、全て記載している。また、募集活動・入学者の選抜に際しても、教務と各支援グループの連携によって、適正に管理・実施している。

見つかった課題

学科別の入学定員に対する充足率。

改善策又は改善の方向性

学科別の入学定員に対する充足率について検証し、定期的に見直しを図る。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・オープンキャンパスの実施回数も多く、募集に向けての努力をされていると思われます。
- ・今後高齢化社会が進んでいくので、福祉のイメージ向上や、他の学校との差別化などして、福祉系の入学者がもっと増えれば良いと思います。

=====

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

教務とキャリア支援本部との連携によって、適正に行われている。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

パンフレット、募集要項、Web サイトにて法人のアドミッションポリシーを明示すると共に、オープンキャンパスにおいて説明している。また入学予定者に対して、入学説明会を実施する中で説明している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

営業担当者及び各県専属営業担当により、定期的な高校訪問を実施。進路ニーズの把握及び提案を行なっている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

情報は、パンフレット、Web サイトで正確に公表している。学生の資格取得、就職情報については定期的に更新を行っている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項、パンフレットなどに育成する学生像を記載している。またオープンキャンパスにおいても各学科にて詳しく説明している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項、Web サイトなどに明示している。教職員はその内容を周知しており、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

選考方法は募集要項で明示している。入学者選考は公正かつ適切に実施しており、実施方法や選考基準については、定期的に検証している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

学科別の入学定員に対する充足率において、改善の必要がある。

=====

基準 7 社会的活動

=====

=====

基準 7 総括

=====

社会的活動については、行政をはじめ各学科の人材育成に関連した業界団体、教育機関等との連携を図って、計画的に行なわれている。地域貢献を目的として、地域の小学校に対して、福祉に対する理解を促す取り組みを継続するとともに、今年度より社会福祉科が主導して「子ども食堂」を始めた。また、例年開催しているお仕事スタジアムでは、今回中学生を対象と

して周知をおこなった。

=====

見つかった課題

=====

地域住民を対象とした無料公開講座については実施できていない。

=====

改善策又は改善の方向性

=====

地域での無料公開講座等については、ニーズの把握とともに継続的に検討する。

■学校関係者評価結果： 適正

=====

学校関係者評価 評価者のご意見

=====

- ・公開講座では、学校の特性を活かした催しができたら良いと感じます。
- ・公開講座にこだわらず、地域住民参加の行事などから始めたら良いのではないかと思います。例えば小中学生への福祉の理解や認知症サポーター講座等、施設や事業所と連携する方法もあると思われます。
- ・子どもに関する行事等は、社会を反映しており地域にとって非常に良いことと思います。
- ・子ども食堂の取り組みは良いと思います。今後もこのような活動の継続を期待しております。
- ・学習支援として宿題を一緒にするというのは、親も子どもも嬉しいと思います。イベントとして実施されているので、子どもも勉強をやらされている感が少なくなるのではないのでしょうか。

=====

中項目 7-1

=====

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

=====

■中項目総括

=====

社会的活動については、市立の老人保健センターをはじめ各学科の人材育成に関連した業界団体、教育機関等との連携を図り、計画的に行なっている。

=====

小項目 7-1-1

=====

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： S

■コメント

福岡キャンパス内に設置しているボランティア推進委員会を中心とした活動と、本校へ社会福祉施設や地域から直接依頼があるイベント等のボランティア募集に対し、学生の自主的なボランティア活動を推進している。単位に関しては、制度上問題がな

い場合には認定している。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

学校独自で行なうものは実施していない。ニーズの把握をはじめとして検討を継続する。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

博多区内の老人福祉センターでの健康相談をはじめ、同センターや地域の小学校でのレクリエーションを実施している。

また、社会福祉協議会との連携により、イベントの企画・運営に参画している。

基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）

基準 8 総括

学校の管理・運営に関しては、経営推進本部によって整備が進められている各規程に則って、連携のうえ行なわれている。火災についての防火・非難訓練の周知徹底に加えて、地震等の自然災害に対しても、昨年度課題であった非常勤講師を含めた周知を徹底した。研修計画については、事務職員に対する研修も計画的に実施した。

見つかった課題

火災の際の避難訓練に関して、時期の検討と学生を含めた訓練。

改善策又は改善の方向性

学生を含めた避難訓練については、時期を含めて再度検討する。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・学生を含めた避難訓練は、是非早い時期での実施を検討願います。
- ・学生数が多いので、全体での避難訓練は難しいと思いますが、天災を含めていつ起きてもおかしくないなので、文書として各自に配布し、周知しておくことが大切と思われます。

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

学校の管理・運営については、経営推進本部との連携の下規定に則って行なわれている。

学校主体で行なわれている防災訓練については、教職員全体での周知徹底を図り、実施時期を含め引き続き検討する。

小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校運営責任者を含めた学校運営に関わる会議(教務会議、責任者会議、系会議、学科会議)を定期的に行い、議事録を作成し時系列に保管、共有している。

小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

職務分掌については、文書化できていない学科・系もあるため、文書化・共有化を進める。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

学生を含めた避難訓練については、時期を含めて検討する。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

学生の個人情報保護について、教職員が規程に基づいた行動ができているかの確認を常に行なっている。

小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ハラスメント防止規程を文書化し、ハラスメント防止のガイドラインも定められている。法人内においてハラスメント委員会を組織し、麻生塾ルールブックにも記載している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

昨年度の課題であった事務職員の研修について実施した。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

中期計画に基づいた毎年度の事業計画と予算を、関係部署の意見を集約して決定し、定期的に管理を行なっている。また、固定資産管理規程・図書管理規程に則って、固定資産の管理を行なっている。

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

中長期計画に基づいた年度予算案を作成し、理事会にて承認を得ている。決定した事業計画は年度初めのキックオフ会議にて全教職員と共有している。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

校長代行が月次予算作成・予算執行を行なっており、毎月の実績確認と管理・改善を行なっている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理規程を文書化し、規程に従って適切に管理・運用している。

小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。

基準 10 改革・改善・情報提供

基準 10 総括

委員会組織としての活動は、年間計画を基に定期的な委員会活動等を行なっている。昨年度は学内の教職員に対して周知していなかったため、今年度は教務会議において報告し、周知を図った。方針として内部監査が廃止されたため、フォローアップができていない。学校としての自己点検・評価を確実にかつ真摯に行なう必要がある。

見つかった課題

学校内での活動は、責任者が委員として活動して、意義・重要性についての発信はしている。教職員に対して、更なる改善・改革の周知・徹底を図る。

改善策又は改善の方向性

自己点検・評価についての教職員の意識を向上させ、結果の検証と改善に向けて、学校全体で取り組むためのしくみ作りを引き続き行う。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

- ・「C評価」の改善については、内容および期限を明確に計画・実行して欲しいです。
- ・「自己点検・評価報告書」の評価結果には、前年度の結果を併記し、継続的な改革・改善を意識・認識できるように検討願います。
- ・同業種間での情報共有はあるのか知りたいです。(介護系学科については養成校の協議会がある)
- ・「自己点検・評価」に関する意識づけの点で、全職員への報告・共有は大切であると思います。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

自己点検・評価活動の意義や重要性が発信するとともに、理解を深めて、改善活動に教職員全体で取り組むためのしくみ作りを行っていく。

小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

年度初めの教務会議において、全教職員へ向けて報告して共有した。

小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： C

■コメント

自己点検・評価の結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証を徹底していく。

小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

今回の報告に関して、学校関係者評価委員会において意見を求め改善する。

中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： B

■中項目総括

教育活動に関する情報の積極的提供の意義と義務について、全教職員に周知し、教育の質の向上を図るうえで重要で

あることを共有する機会を設ける。

小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

法令およびガイドラインについて、全体に周知を図る機会を設け、正しく取り組むよう徹底する。

小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

法令およびガイドラインについて、全体に周知を図る機会を設け、取り組みの徹底を図る。

小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

法令およびガイドラインについて、全体に周知を図る機会を設け、効果的な取り組みを行う。